



菩提寺まちづくり協議会は福祉安全委員会・文化芸術委員会・地域活性化委員会・子ども育成委員会の4委員会といくつかの特別事業に分かれて活動しています。今回はそれぞれのグループの活動の一部を紹介させていただきます。

福祉安全委員会 ～子供・障がい者にやさしいまちづくり～

今年度は、新たな事業として子ども食堂（名称は「菩提寺すくすく食堂」）を、昨年10月に立ち上げ、以後毎月第3土曜日（11時～）に開設しております。

昨今、各種調査やマスコミの報道等から、子どもの食事が満足に取れていないという実態が浮かびあがっています。菩提寺学区内の状況は一般論から推察するしかなく、世の中で起こっている子どもたちの状況が、菩提寺学区内でもあり得ると思っております。

滋賀県下においては、「滋賀の縁創造実践センター」が主体となって「地域に子ども食堂をつくろう」というプロジェクトが展開されており、7月時点で66カ所の子ども食堂が誕生していました。

委員会として、「滋賀の縁創造実践センター」が主催する研修講座への参加、他の子ども食堂の見学、体験談を聞く場への参加等をしなが、子ども食堂開設の検討を深めて来ました。

「貧困対応という一面だけでは、かえって誤解を生み参加しづらいのではないか」「食事の提供だけでなく、遊びや学習といったことも付け加えるべきではないか」「継続が必要だがどのように運営組織をつくれればいいのか」等の考え方や取組みの方法を模索して、10月21日に第1回目の子ども食堂を開設することを決めスタートをし、3月17日には第6回目を迎えます。

私たちの子ども食堂開設のネライは「皆で食べる食事の楽しさを覚えてもらう。」「食事を一緒につくることや年少の子どもたちの面倒をみることで、自分の役割を自覚してもらう。」「回を重ねることで大人と子どもの距離を縮め、家庭、学校につづく第三の居場所になれば。」と定めて運営しております。

これまで、「カレーライス」「スパゲティ」「オムハヤシ」「シチュー」等を提供し、合わせてボランティアグループの協力を得て、「折り紙指導」「竹トンボづくり」「パチンコヘリコプターづくり」「かるた取り」など“遊びと学び”の場を提供してきました。



「美味しいカレーライス」



「大家族で食事」



「かるた取りで大盛り上がり」

- 現在、すくすく食堂の運営において、“遊びと学び”と一緒に企画・運営して頂ける方やボランティア団体を探しております。私達の活動に賛同いただき一緒に活動を希望される方がおられましたら下記迄ご連絡下さい。

連絡先：菩提寺まちづくり協議会ホームページ <https://www.bodaiji.org>「スタッフ大募集」をクリックして必要事項を記入の上、送信下さい。

- すくすく食堂に食材を提供頂ける方は、

菩提寺まちづくりセンター（電話：74-3471 FAX：74-4005）にお知らせ下さい。



地域活性化委員会

～竹林の整備と地産地消～

今年度の事業では、竹林整備とそれに付随する事業として、タケノコ掘りやヒラタケ・椎茸の育成販売、カブト虫の育成販売を主に行ってまいりました。

タケノコ掘りは希望のあった自治会単位で北山台、イワタニ、サイドタウン、みどりの村の会員様に掘って持ち帰っていただきました。

ヒラタケは2月に柳の木を伐採して菌を植え9月に希望者に販売しました。椎茸はまちづくりフェスタやまちづくりセンターで販売しましたが、原木が老朽化して、十分に供給できずご迷惑をお掛けいたしました。

昨年にクヌギの木を椎茸用原木として約100本伐採して3月に菌付けを行ない、竹林に設置しますのでこの秋から収穫できるものと考えています。

カブト虫の育成では試行錯誤してまいりましたがやっと要領がつかめるようになり、餌代の削減をはじめ、経費削減に取り組んでいます。今年も7月から8月にかけて販売を予定しています。



竹林整備
(廃竹の粉碎)



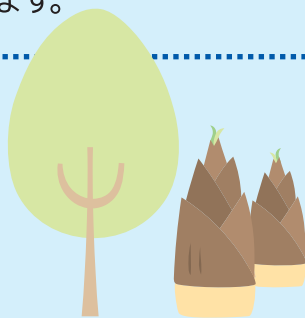
県立大の学生さんによる
バンブーハウスの補修



ヒラタケの原木の販売



各区の夏祭りで
カブト虫の販売



竹林で椎茸の収穫



販売した、ヒラタケも収穫の
時期が来ました



事業としてはこのようなことでまちづくり協議会の収入の足しになればと思います。

これらの事業をスムーズに行うために竹林や駐車場の草刈りを2回、不要な竹や廃材を処分するため竹のチップ機をリースして4日間稼働しました。出来たチップは菩提寺公園に散布して草を生えにくく、また歩きやすくしたり、カブト虫の餌に、菩提寺北小学校の花壇の肥料として等、多方面で使用しています。

最後になりましたが、竹林内にはバンブーハウスをはじめ、多くの施設があります。3月に滋賀県立大学の学生さんが安全面を強化するため、改良と補修に来られます。3月15日と16日には甲西北中学生が環境学習の一環として、竹林の整備を手伝っていただいています。

昨年は、竹林の草刈りの参加募集を行いました。地域活性化委員も含め9名の参加となりました。ややPR不足がうかがえますが、このように多くの皆様に支えていただきながら活動を行っていますので、興味のある方や新しい事業をお考えの方は是非ご参加していただければありがたいです。



今年も、竹林で採れたタケノコや椎茸を菩提寺まちづくりセンターのロビーにて販売いたします。皆さん、買いにきてくださいネ!

子ども育成委員会 ～心豊かな子供を育むまちづくり～

ハッキリンピック

平成29年10月29日、菩提寺まちづくりフェスタ2017において、ハッキリンピックを開催しました。射的、ピンボールともに大人気でしたが、一番の注目は参加賞のお菓子の袋詰め・だったかなぁ。外は雨模様でしたが、子どもたちのパワー炸裂で240名集まってくれました。



すくすく広場

平成30年1月28日、第6回すくすく広場を菩提寺学区、菩提寺北学区民生委員児童委員の皆さんとの共同で開催しました。大道芸バルーンアート、ミュージック・ケア、手作りのケーキタイム、豆まき鬼たいじと盛りだくさんの中、未就学児、保護者、地域の高齢者スタッフ、総計約140名の参加をいただき、大盛況でした。



文化芸術委員会 ～文化歴史を未来につなぐまちづくり～

今年度（2017年度）の主な活動は、大きく分けて4つあります。

①菩提寺まちづくりセンター内にある、「菩提寺歴史文化資料室」の維持、管理です。まちづくりセンターが出来て3年になります。その間、展示内容を少しずつ変えて、「企画展示」を3回やってきました。今年度は昔、斎王群行が菩提寺を通ったとする説に基づき斎王群行の特集をしました。また、今年度から「滋賀県博物館協議会」に加盟して資料室を県内で大きくアピールする事が出来ました。市外からも色々な人が訪れるようになりました。



②菩提寺にある歴史的な史跡（歴史の小径等）を守って、多くの人たちに来てもらえるように小径の整備を行い、月に1回、維持管理のための整備作業を計画し、各自治会に協力を呼びかけてきました。10月には市観光協会が企画したJRハイキングで菩提寺山に登るコースを設定し、77名の方が各地から来られて、菩提寺山に登り、下山後まちづくりセンターで昼食を食べて頂きました。



③菩提寺の歴史を子どもたちに知ってもらうために、夏休みの一日をつかい、歴史のワークショップを開催しました。まだ学校で歴史など勉強していない低学年の子どもたちもいましたが、各学年に応じた問題に取り組んでもらい、歴史文化資料室との間を行き来して、自分で解答を調べながら取り組んでいました。全員に認定証を渡す事が出来ました。



④これらの活動のほかに、今年度の「湖南省地域活性化先進モデル事業」として、菩提寺に伝わる伝統行事や各自治会活動の様子をビデオに撮って記録する活動を進めています。現在は集めた資料のまとめに入っています。これと並行して、地元で昔から住んでおられる方の貴重な話を聞いて、小冊子を作る計画も進めています。

歴史に興味のある方の参加を歓迎します。

スタッフ募集

湖南省では、平成19年から地域住民の皆様により地域まちづくり協議会が設立され、菩提寺地区では平成20年6月に「菩提寺まちづくり協議会」が設立されました。

創設後10年目を迎え、まちづくり協議会にお手伝いいただけるボランティアの方々を募集しています。活動内容は、今号で紹介させていただいた各委員会のスタッフですが、出来ることだけや参加できる日だけでも結構です。

詳細および申込は菩提寺まちづくり協議会ホームページ (<https://bodaiji.org>) の「スタッフ大募集」をご参照ください。

「すすく食堂」食材提供者募集

菩提寺まちづくり協議会・福祉安全委員会として毎月「すすく食堂」を開催しています。

開催当時は40食を提供していましたが、回を重ねるにつれ参加者が増え、今では100食を超える勢いです。

継続的な食堂運営には、食材や運営スタッフの確保が必要です。

食材を提供して頂ける方や運営スタッフへの参加可能な方は左記ホームページの「お問い合わせ」にてご連絡ください。または菩提寺まちづくりセンターまでご連絡ください。